

村杉・櫛尾

村杉の地層

県道199号線、黒瀬谷保育所西側の久婦須川河床では、東別所層の地層を観察することができます。この時代の八尾は北から寒流が流れ込む冷たくてやや深い海の底でした。その環境を反映した化石が産出します。



村杉地区と小長谷地区の境界付近には、砂岩が河床付近に露出しています。この砂岩内には、流水のはたらきでできたポットホールがいくつもあります。また、ノジュールや動・植物化石も見ることができます。ノジュールを割ると、中から下の写真のような化石が出てきます。水量の少ない時期を選べば、児童・生徒に化石を採取するには良い場所です。



ノジュール



ノジュール内の植物化石



フナムシの化石



トヤマキサガイの化石

外雲橋そばの化石

外雲橋上流の久婦須川河床では、ノジュール内にさまざまな化石を見ることができます。水量の少ない時期を選んで採取するとよいでしょう。



ここで、産出した化石には、次のようなものがあります。

- ・二枚貝……………オオキララガイ、ベッコウソデガイ、ヤスリツノガイ
- ・巻貝……………キリガイダマシ、マスダヒタチオビ
- ・その他……………コシオリエビ、フシオカツノクリガニ、エンコウガニ、ウミユリ

小長谷周辺

小長谷の新久婦須橋東側の露頭に、部分的に色の違う層があります。鑿（たがね）で掘り出して手に取ると明らかに重さが異なるので、すぐに分かります。

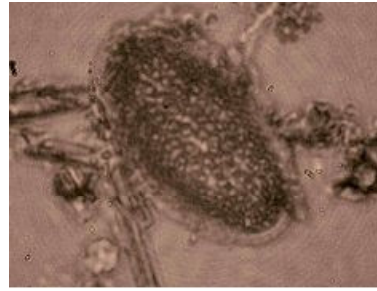
この層を取り出してすりつぶしてから水に溶かし、上澄みを2～3滴スライドガラスに垂らします。水分を蒸発させ乾燥させた後に顕微鏡で観察すると、内湾性から外洋性の珪藻化石を見ることができます。富山県内では氷見市の姿層の珪藻化石が有名ですが、八尾でも産出します。ほんの小さな植物プランクトンですが、昔の環境を現在に伝える大切な化石です。このような化石を、示相化石といいます。



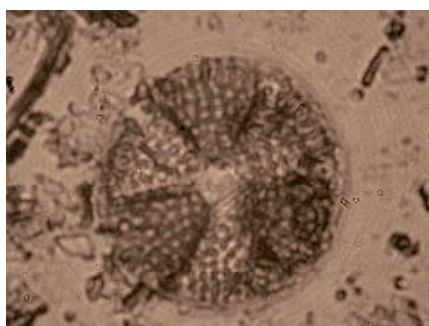
小長谷の珪藻土



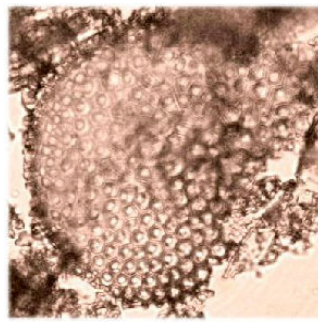
ハネケイソウの仲間



コツコネイシスの仲間



アウラエディクスの仲間



タラシオシーラの仲